

子育て世代を応援する図書館

～みんなの笑顔に会える場所～



弘前市立弘前図書館駅前分室こども絵本の森（青森県弘前市） <http://www.hi-it.net/~tosho/>

基本データ（数値はH25年現在）

住所	弘前市大字駅前町9-20ヒロロ3階
電話番号	0172-35-0155
人口（図書館が所在する市町村）	179,803人
職員数（うち有資格者数）	5人（0人）
蔵書数	3,068冊
登録者数	219人

目的・趣旨

次代の弘前を担う子供たちが健やかに生まれ育つことを願い、出産や育児のたすけとなる子育て関連の図書資料を用意し、子育て中の保護者を支援する。また、乳幼児向けの絵本などの図書資料をとおして親子のふれあいの大切さを伝えるとともに、子供たちの幼少期からの読書推進に努める。

取組概要

- 五感の発達を促す図書資料の収集・展示（例）しかけえほん（ポップアップ、つまみひき、手触り、めくり等）、こするとにおいがするえほん、音が出るえほん、指人形えほん、布えほん等
- 「えほんのもりのおはなしかい」の開催
- 郷土の絵本作家「ささやすゆき」さんの紹介と原画の展示（書架の外側にパネルを設置し、紹介）。原画の他には、手づくり絵本講習会で参加者が作成した絵本のページをパネルにして紹介。



おおむね0歳から3歳のおこさんとその保護者を対象とした「おはなしかい」の様子



郷土の絵本作家「ささやすゆき」さんのご紹介

特徴

- JR弘前駅から徒歩3分の位置に立地する商業施設ヒロロの3階（ヒロロスクエア）内に、平成25年7月27日に開館。ヒロロスクエアは、子育て・健康・交流・行政エリアの4つの機能からなり、こども絵本の森は子育てエリアに属し、子育て支援センターと連携をとりながら事業運営を行っている。各エリアは独立しながらも、フロアは仕切りのない開放的な空間となっており、多世代交流の場となっている。
- 商業施設内のため、休館日は毎月第3木曜日と特別蔵書点検期間（年3日程度）としており、土、日、祝日、年末・年始も開館している。図書返却ポストを設置しているため、閉館時でも図書の返却が可能である。
- 毎月第1・2・3日曜日に「えほんのもりのおはなしかい」を開催し、読み聞かせボランティアの協力を得ながら、本をとおした親子のふれあいの大切さを伝えるなど、読書活動の推進を図っている。
- 子育て世代への支援を目的とした施設のコンセプトに基づき、育児関係の図書資料を選びやすいようにジャンル別で配架しているほか、乳幼児向けの絵本も、内容によりコーナーをつくって配架している。



閲覧室の様子
（となりはこどもの広場）

取組の成果と今後について

JR弘前駅近くという恵まれた立地のため、市外からの利用者も多くみられる。また商業施設内に開設したことで、買い物ついでに足を運ぶことができ、気軽に図書館に来ることができると好評である。隣接するこどもの広場では、積み木やおもちゃで遊ぶ子供たちの声が聞こえ、にぎやかな空間となっている。利用者からは「本館では、子供が騒いだらどうしようと思えば不安があったが、ヒロロでは気兼ねなく利用できる」というご意見をいただいている。その一方、開放感のあるフロアのため、音が響き、読書中気になるという声があることや、蔵書数が少ないことなど課題は残っている。しかしながら、子育て世代に大変便利な施設であることは間違いなく、リピーターや新規の利用者の増加に向けて更に工夫改善に努めていきたい。また、ヒロロスクエア全体の事業運営との関わりについても考慮していく必要がある。